

平成29年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市中央いきいきプラザ 千葉市花見川いきいきプラザ 千葉市稲毛いきいきプラザ 千葉市若葉いきいきプラザ 千葉市緑いきいきプラザ 千葉市美浜いきいきプラザ 千葉市蘇我いきいきセンター 千葉市花見川いきいきセンター 千葉市さつきが丘いきいきセンター 千葉市あやめ台いきいきセンター 千葉市大宮いきいきセンター 千葉市都賀いきいきセンター 千葉市越智いきいきセンター 千葉市土気いきいきセンター 千葉市真砂いきいきセンター
条例上の設置目的	<ul style="list-style-type: none"> 千葉市老人福祉センター設置管理条例（昭和59年千葉市条例第20号）第1条で設置する老人福祉センター 千葉市いきいきセンター設置管理条例（平成14年千葉市条例第14号）第1条で設置するいきいきセンター
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康の増進、教養の向上、世代間交流等の機会を提供することにより、高齢者が健康で生きがいのある生活が送ることができる地域社会を構築していく。 高齢化の進展を見据え、できる限り住み慣れた地域で高齢者が自立した生活が送れるよう、「地域包括ケアシステム」の構築・強化を図っていく。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が学習意欲を発揮し、地域社会への参画意識を持てるような機会を提供していく。 高齢者の健康づくりや介護予防の場を提供していく。
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの高齢者に施設を利用してもらう
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートによる利用者満足度
数値目標※	① 平成27年度利用者数を基準とし、千葉市の高齢者人口の伸び率を乗じた人数以上 ② 満足度60%以上
所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人 千葉市社会福祉事業団
構成団体（共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	平成23年度に実施した外郭団体の事務事業の見直しの結果を踏まえ、いきいきプラザ及びいきいきセンターのような安定的なサービス供給が求められる施設の指定管理については、公募によらない方法により、外郭団体に行わせるべきサービスとして整理され、平成24年度に各条例を改正し、公募によらない方法により指定管理を行うこととなった。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

(ア) 施設利用者数

施設名	数値目標 (※1)	H29年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ	58,818	56,721	96.4%	C
千葉市花見川いきいきプラザ	74,981	69,427	92.6%	C
千葉市稲毛いきいきプラザ	69,487	62,967	90.6%	C
千葉市若葉いきいきプラザ	87,787	85,582	97.5%	C
千葉市緑いきいきプラザ	58,978	58,989	100.0%	C
千葉市美浜いきいきプラザ	126,272	124,068	98.3%	C
千葉市蘇我いきいきセンター	18,713	24,782	132.4%	A
千葉市花見川いきいきセンター	36,451	34,150	93.7%	C
千葉市さつきが丘いきいきセンター	19,606	20,328	103.7%	C
千葉市あやめ台いきいきセンター	13,256	19,639	148.2%	A
千葉市大宮いきいきセンター	12,969	12,799	98.7%	C
千葉市都賀いきいきセンター (※2)	—	—	—	—
千葉市越智いきいきセンター	11,358	14,239	125.4%	A
千葉市土気いきいきセンター	12,282	17,612	143.4%	A
千葉市真砂いきいきセンター	22,257	22,201	99.8%	C
合計	623,215	623,504	100.1%	C

※1 29年3月末60歳以上人口295,455人÷27年3月末全市60歳以上人口288,885人＝102.27%
各施設27年度実績×102.27%＝数値目標

※2 都賀いきいきセンターは大規模修繕のため平成29年6月12日から平成30年4月19日まで休館したため評価対象外とする。29年度の開館期間の利用者数は4,844人。

(イ) 利用者アンケートによる満足度

施設名	数値目標 (※3)	H29年度実績	達成率	評価
千葉市中央いきいきプラザ	60%	74.2%	123.7%	A
千葉市花見川いきいきプラザ		74.1%	123.5%	A
千葉市稲毛いきいきプラザ		72.5%	120.8%	A
千葉市若葉いきいきプラザ		74.4%	124.0%	A
千葉市緑いきいきプラザ		79.6%	132.7%	A
千葉市美浜いきいきプラザ		70.7%	117.8%	B
千葉市蘇我いきいきセンター		73.3%	122.2%	A
千葉市花見川いきいきセンター		71.7%	119.5%	B
千葉市さつきが丘いきいきセンター		80.7%	134.5%	A
千葉市あやめ台いきいきセンター		82.7%	137.8%	A
千葉市大宮いきいきセンター		82.7%	137.8%	A
千葉市都賀いきいきセンター (※4)		—	—	—
千葉市越智いきいきセンター		79.8%	133.0%	A
千葉市土気いきいきセンター		78.6%	131.0%	A
千葉市真砂いきいきセンター		84.2%	140.3%	A
合計		74.9%	124.8%	A

※3 算定方法は、6 (1) アンケート質問6 (6) の (満足+ほぼ満足) ÷回答者数で算定

※4 都賀いきいきセンターは大規模修繕のため平成29年6月12日から平成30年4月19日まで休館したため評価対象外とする。

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

4 収支状況

(1) 収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
指定管理料	実績	571,459	606,997	実績－計画	△ 30,614	事業実施内容の精査による。
	計画	602,073	637,286	計画－提案	△ 70,389	計画の精査による。
	提案	672,462	658,819			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	571,459	606,997	実績－計画	△ 30,614	
	計画	602,073	637,286	計画－提案	△ 70,389	
	提案	672,462	658,819			

イ 支出

(単位：千円)

費目	H29年度	【参考】 H28年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
人件費	実績	397,055	395,251	実績－計画	△ 197	事業実施内容の精査による。
	計画	397,252	411,470	計画－提案	△ 37,469	計画の精査による。
	提案	434,721	426,819			
事業費	実績	92,040	88,249	実績－計画	△ 6,530	事業実施内容の精査による。
	計画	98,570	109,468	計画－提案	△ 18,778	計画の精査による。
	提案	117,348	113,452			
事務費（委託料を除く）	実績	41,626	43,295	実績－計画	△ 4,327	事業実施内容の精査による。
	計画	45,953	49,893	計画－提案	△ 6,190	計画の精査による。
	提案	52,143	51,661			
委託費	実績	47,644	46,851	実績－計画	△ 2,898	事業実施内容の精査による。
	計画	50,542	50,491	計画－提案	△ 1,481	
	提案	52,023	50,491			
その他事業費	実績	10,414	19,298	実績－計画	658	「ファイナンスリース債務の返済支出」を事業費から科目変更したため
	計画	9,756	15,964	計画－提案	△ 6,471	計画の精査による。
	提案	16,227	16,396			
本社費・共通費	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	588,779	592,944	実績－計画	△ 13,294	
	計画	602,073	637,286	計画－提案	△ 70,389	
	提案	672,462	658,819			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数	C	3 (1) ア 達成率100. 1%
利用者アンケートによる満足度	A	3 (1) イ 達成率124. 83%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	4 (1) イ 実績588, 779千円÷提案672, 462千円=87. 57%

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

－：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
ホームページについては、施設の取り組みに関する情報の積極的な公開がなされるよう、今後の改善に是非期待したい。	平成28年度	ホームページは、写真掲載数を増やしたほか、事業内容をよりわかりやすくするための説明を加えました。また、事業の募集状況や活動案内、同好会案内を随時掲載するなど、利便性の向上に努めました。講座、機能回復訓練、生きがい活動支援通所事業などの電子申請も定着しつつあり、申請方法の多様化、簡素化を推進しました。
指定管理料と法人全体の決算書の整合性が分かる報告書の作成を、今後の課題としていただきたい。	平成29年度	指定管理料の決算報告書を、拠点単位で作成し、法人全体で作成する事業区分資金収支内訳表に対応させ、指定管理とそれ以外の事業を区分しました。
最小限の費用で最大限のサービスを達成できるように、サービスの質の向上を目指しつつ、経費の節減に取り組んでいただきたい。	平成29年度	医療機関や行政機関、ボランティアの活用により、講師料を抑制しながらも多数の講演会を開催しました。フェスティバルや健康測定会で使用する備品等を、全プラザ間で共有し、電力供給事業者は入札により決定する等、経費の削減を図りました。
施設の運営には、専門的知識を有する者を多数配置する必要があり、単純に人手が揃えばよいというものではないこと等の非公募理由について、さらなる市民理解が得られるよう努力をしていただきたい。	平成29年度	次期選定時の際には非公募理由について、ホームページ上で公開し、より市民理解が得られるよう努めていきます。
広報活動について、さらに充実するよう取り組んでいただきたい。	平成29年度	各区の地域ケア会議等に積極的に参加し、講演会等イベントの説明、広報誌配布、ポスター掲示等により地域の高齢者への広報を強化しました。また、新聞折り込み広告や近隣の公共施設、商店へのチラシの配布、ポスターの掲示などの広報活動を継続して行いました。さらに、健康フェスティバルの開催や地域へ出向いての出張体操教室、健康測定会において、事業案内を合わせて行うなど、新規利用者の獲得に繋げました。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容及び結果	調査方法	平成29年10月1日～31日の間、来館者全員にアンケート用紙配布。無記名にて記入の上、アンケート箱設置による回収。						
	回答者数	8,944人						
	平成29年度 アンケート結果							
	回答者個人属性							
	居住区 (人)							
	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	市外	無回答
	1,166	1,629	1,151	1,359	1,193	2,116	61	269
	性別 (人)							
	男性	女性	無回答					
	2,490	5,854	600					
	年代 (人)							
	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	無回答	
	262	1,634	2,670	2,590	1,260	293	235	
	世帯構成							
	ひとり暮らし	60歳以上のみの世帯	その他	無回答				回答者数合計
1,411	3,905	2,003	1,625				8,944	
質問1 ご利用いただいている内容は次のうちどれですか。(複数回答可) (人)								
講座	2,921	同好会活動	4280	ヘルストロン・マッサージ機	391			
講演会	280	体操教室	754	テレビ視聴	48			
機能回復訓練	590	入浴・シャワー	138	新聞・雑誌閲覧	87			
生きがい活動	1,013	カラオケ	235	その他	473			
世代間交流	66	囲碁・将棋	340	無回答	258			
生活・健康相談	73	トレーニング機器	69					
質問2 ご利用いただいている目的は次のうちのどれですか。(複数回答可) (人)								
介護予防	939	体力増進	2,858	心配ごとの相談	37	友人との交流	2,237	
教養・知識の習得	1,484	趣味・レクリエーション	2,616	入浴	113	その他	101	
						無回答	454	
質問3 どのくらいの頻度でご利用いただいていますか。								
ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1回	月1～2回	年に数回	無回答		
1.1%	3.2%	14.3%	21.2%	56.0%	1.0%	3.1%		
102人	288人	1280人	1895人	5010人	93人	276人		
質問4 いつからをご利用されていますか。								
今年から	1年前から	2年前から	3年前から	4年前から	5年以上前から	無回答		
16.0%	7.6%	8.5%	11.2%	8.4%	41.1%	7.2%		
1433人	683人	758人	1000人	748人	3677人	645人		
質問5 主催事業にご参加いただく際、何からお知りになりますか。(複数回答可) (人)								
市政だより	いきいきプラザだより	ホームページ	館内掲示	自治会等の回覧	知人の紹介	その他	無回答	
5,417	1,329	66	890	108	1,725	163	546	
質問6 運営状況について、感想をお聞かせ下さい。								
	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	無回答		
(1) 設備・備品類の配備状況について	20.3%	42.8%	31.7%	2.0%	0.3%	2.8%		
	1818人	3829人	2837人	178人	31人	251人		
(2) 施設的环境(衛生面・安全性)はいかがですか	21.3%	42.3%	32.3%	1.3%	0.1%	2.7%		
	1905人	3787人	2885人	117人	12人	238人		
(3) 職員の対応はいかがですか。	35.1%	40.1%	24.5%	0.0%	0%	0.2%		
	3077人	3514人	2151人	4人	9人	15人		
(4) 施設や事業の案内、お知らせは充分にできていますか。	16.9%	36.1%	39.8%	2.3%	0%	4.7%		
	1512人	3225人	3564人	208人	15人	420人		
(5) ご利用いただいて介護予防になると感じられますか。	28.3%	42.8%	16.2%	1.2%	1%	10.2%		
	2531人	3827人	1452人	104人	118人	912人		
(6) 全体としてどのように感じますか。	21.1%	51.2%	23.6%	0.5%	0%	3.5%		
	1888人	4581人	2113人	44人	6人	312人		
※(4)の回答は、「充分、ほぼ充分、普通、やや不十分、不十分、無回答」から選択								
※(5)の回答は、「そう思う、まあまあそう思う、普通、やや思わない、思わない、無回答」から選択								
※成果指標の利用者アンケートによる満足度は(6)の(満足+ほぼ満足)÷回答者数で算定 74.9%								

※各施設ごとのアンケート結果については、「参考資料1の1-4」に掲載。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

市に寄せられた主な意見・苦情	市の対応
窓口で身分証を見せるように言われて疑われているようで不愉快だ。そもそも顔を覚えて欲しい、身分証を見せることを拒む訳ではないが、毎回言われて心外だ。	60歳以上の方を対象としている施設であるため年齢確認が必須であることを説明した。不愉快な思いをされたことを謝罪し、窓口にいつも同じ職員がいるわけではないので、身分証の提示はお願いしたいと回答した。また、窓口での対応は気持ちの良い接客になるよう心がける旨を伝えた。
トレーニングマシンが壁側に向けて設置されているが、窓側に変更して欲しい。	指定管理者と協議しマシンの向きを変更した。
指定管理者に寄せられた主な意見・苦情	指定管理者
教養娯楽室で囲碁・将棋を楽しんでいるが、長時間畳に座っていることが、歳とともに辛くなってきた。机・椅子で囲碁将棋ができるようにして欲しい。	囲碁・将棋ができる部屋として一般開放している教養娯楽室（畳）の他に、机・椅子で対局ができる場所を設置し、空きスペースの有効活用を図るとともに、利用者の利便を図った。
浴室を無料で利用している人がいる。浴室利用は「有料である」こと、「リストバンド着用」を小さな掲示ポスターから大きく書いたポスターに変更して欲しい。	掲示ポスターを利用者が分かりやすいように大きく変更した。さらに来館者へは窓口で必ず受付していただくよう声掛けし、受付及び館内、浴室内に料金のご案内及び利用手順を掲示し、利用者の理解を図った。また、料金の支払いを確認するリストバンドの着用を徹底し、定期的に職員が浴室を巡回して未払者の有無を確認した。リストバンドは複数色を準備し、番号を付けて確実に回収し、また、不定期に浴室出口で回収する等、持ち帰りや使い回しが無いよう徹底した。未払者を確認した場合は、料金徴収のうえ、厳しく対処し、不正や不公平感の是正に努めた。
研修室でプロジェクター投影を実施したがカーテンを閉めても明るすぎて映像が見られない。暗幕仕様のカーテンにしてほしい。	遮光カーテンに交換した。
健康維持のための体操教室(いきいき体操等)に参加できないか。気軽に参加できるものはないか。	毎朝ラジオ体操を行い、誰でも気軽に参加できる日課として定着させるとともに、いきいき体操の内容、参加方法を案内した。
身体障害者専用駐車スペースにマークのない車が駐車すると本当に困っている人が駐車出来ない所以对策を考えてほしい。	身障者マークが表示されていない、警察署の許可表示のない車両に対して駐車禁止のチラシにより移動を促すとともに、館内巡回時に駐車場も巡回し、注意喚起した。
一般開放の部屋のエアコンの使用方法が分からない。壁のスイッチは不慣れで操作が難しい。30分くらい利用するのに、つけたり消したりすると電気代が余分にかかるか。	一般開放の部屋の利用は、利用者自身で照明と空調の入り切りをしていただくため、初心者でも分かるように利用方法の説明を掲示した。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

ア 全体

総括評価	所見
C	「介護予防」について、講座、講演会、体操教室等、多様な事業形態を検討、試行した。現状、アンケート結果によるいきいきプラザ・センターと「介護予防」の関連に係る利用者の認識や「介護予防」の銘を打った講座、講演会の参加率は、まだまだ高いとは言えないが、機能回復訓練や自主体操、体操系の講座の応募数、参加率は高く、音楽や脳トレーニングを取り入れた講演会等、介護予防につながる事業のニーズは、確実にあると考える。 今後も、地域包括ケアシステムにおいて、地域で支える福祉に取り組むために、「介護予防」を重要と考え、継続して取り組んでいく。

イ 施設別

施設名	総括評価	所見
中央いきいきプラザ	C	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズが高い歴史講演会を年6回、歌声集会を年4回実施し、定期的に開催する名物講演会として定着した。 地域包括ケアシステムの一役を担えるよう、地域のあんしんケアセンターや松ヶ丘学校地区の円卓会議等において、地域の社会資源と連絡・協力体制を作ることに力を注いだ。特に認知症徘徊高齢者の声掛け模擬訓練を地域と連携して実施し、小中学生から高齢者まで多数が興味を持つ機会を提供した。 地区の自治会館等で体操指導をする出張体操を継続して実施し、地域の高齢者が居住する近隣で介護予防事業に参加できる機会を提供した。 老年看護学・介護等体験・職場体験などの実習を積極的に受け入れ、地域の学生が高齢者を学ぶ場としての役割を果たした。

花見川いきいきプラザ	C	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉講座の募集案内を、新聞折り込みチラシとして近隣地域に配布した。 ・高齢者福祉講演会は、当初予定より3回増加し計7回開催した。 ・会員の減少が課題となっている同好会からの相談に応じ、同好会講師による講演会等により会員増加を促進した結果、平成30年度に新規5団体増加につながった。 ・地域交流として、一般市民に広くいきいきプラザを理解していただくことを目的に夏休み映画上映会、福祉バザー、クリスマスコンサートを開催し、パンフレットの配布等により広報活動に努めた。
稲毛いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画を上回る回数の高齢者講演会を実施した。 ・DVDによる映画鑑賞会を実施し、地域交流を行った。 ・自治会、あんしんケアセンター、地区社会福祉協議会等の近隣施設と連携し徘徊模擬声掛け訓練を実施している。 ・一般開放のカラオケ、囲碁・将棋に加え、作業室を開放し麻雀を行った。 ・稲毛区役所、地区社会福祉協議会、地域のNPO法人等25カ所へ広報誌の設置を依頼するなど利用促進に努めた。 ・土日の利用率向上を意識して福祉講座、講演会を開催した。
若葉いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会は計画を大幅に上回る回数を実施し、特に、プレ60歳を対象者とした講演会を開催し、いきいきプラザの広報、周知に努めた。 ・年間2回の健康フェスティバルの際に、スポーツ体験会を開催し、東京パラリンピックの競技であるボッチャ体験に多くの参加をいただいた。 ・近隣施設と連携し、ペットボトルキャップの収集や、ゲートボール大会での世代間交流により、多世代、地域との交流に努めた。 ・休館した都賀いきいきセンターの利用者に対し、若葉いきいきプラザの講演会の案内や同好会活動場所を提供し、継続的に活動出来るよう支援に努めた。
緑いきいきプラザ	C	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センター、あんしんケアセンターとの共催で、商業施設や寺院を会場に身体測定機器を使ったイベントを開催し、地域における健康増進と交流を図った。 ・福祉講座や同好会の利用がない空室を、卓球や健康麻雀の活動場所として一般開放し個人利用者が増加した。 ・近隣の公共施設、福祉施設はもとより、商業施設にも施設利用のためのリーフレット等を配布し、利用の促進に努めた。 ・いきいきプラザやいきいきセンターとの間での機器類などの貸借を通じて支出の節減に努めた。 ・講演会は、実施回数を増やすためボランティア講師を積極的に活用した。
美浜いきいきプラザ	C	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会では高齢者のニーズを考慮し19回開催した。講演会や生きがい教養講座の講師は、積極的にボランティアを活用し、活動支援した。 ・ことぶき大学校との連携・協働を図り、健康測定会の運営補助やデジカメサークルによる撮影など、シニアボランティアを積極的に活用し、育成と活動支援に努めた。 ・世代間交流を7回実施し、参加者から笑顔と喜びの声を多数いただいた。 ・UR都市機構、イオン、地域のスーパーマーケットなど、体操教室、健康測定会にて、地域の高齢者への社会参加や介護予防、健康づくりに向けた企画を共働りし、パンフレットの配置など協力体制を構築した。

<p>蘇我いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者の獲得のため、隣接の蘇我コミュニティーまつりへの出展による広報活動や、全10地区・自治会でのイベント案内を回覧した。 ・脳年齢測定の人気が高かったため、年2回の健康フェスティバルの他に脳年齢測定週間を設けより多くの利用者に測定機会を提供した。 ・蘇我いきいきセンターフェスティバルでは地域住民への案内と施設開放により、地域に根差した施設になるよう取り組んだ。また、利用者ボランティアを多数募り、利用者と一緒に作り上げるフェスティバルを開催した。 ・体操の機会を増やして欲しいという利用者の要望に応じて、シニアリーダー体操を定期的実施した。 ・出張体操など地域に出向くことで、来所が困難な高齢者の介護予防を支援した。 ・講演会や自主事業ではボランティア講師を依頼し、積極的なボランティアの活用と支援に努めた。また、イベント時に学生ボランティアを募り、体験や学習の場を提供した。 ・あんしんケアセンター蘇我が主催する地域ケア会議に出席し、地域の情報交換や連携に努めた。また、蘇我地区で行われた認知症徘徊模擬訓練に協力参加した。
<p>花見川いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉講演会は、当初計画より回数を増加し、合計15回開催した。 ・生きがい活動支援通所は、定員を17人に増加したことにより年間利用者が389人の増加した。 ・花見川公民館をはじめ花見川団地自治会、住宅自治会、あんしんケアセンターなど地域の団体と連携し、地域に密着して運営した。
<p>さつきが丘いきいきセンター</p>	<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを用いた自主体操「百歳体操」は、毎日自由に参加できる環境を整えたことで継続利用者の確保につながった。 ・利用者自身が、センターでの活動以外の場所等で交流したり、相互に脳トレ運動を紹介しあうなど自主的な活動の場として定着してきた。 ・地域交流として落語、弦楽四重奏の公演を企画し、好評を得た。
<p>あやめ台いきいきセンター</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が教える麻雀教室やボッチャ交流会などの各種新規事業を実施し、利用者数が大幅に増加した。 ・生きがい活動支援通所事業のお知らせを近隣へポスティングし、また生きがい活動体験会を開催し、利用促進に努めた。 ・高齢者講演会を計画を上回る回数を実施した。 ・世代間交流は、あやめ台小学校に立地していることを活かし、こどもルームや小学校と頻繁に交流会を開催した。 ・いきいきセンターだよりをあんしんケアセンターや福祉センター等へ配付し施設の周知を図った。

大宮いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の少ない土、日曜日に講座や講演会增加し集客に努めた。 ・小学校内のセンターとして、ボッチャ大会、給食の参加、輪投げ体験、保護者の骨密度測定会など、小学校及びこどもルームと積極的に交流した。
越智いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき体操の回数の増加や脳トレ教室の開催、一般開放の健康麻雀参加者の増加などにより、利用者数が前年比で約2.5%増加した。 ・おゆみ野ふれあい館にて出張脳トレ教室を定期開催した。(5回) ・血管年齢測定会を行った。 ・日曜日に実施しているラジオ体操の後の時間を、一般開放してカラオケの利用を提供した。 ・越智公民館主催の星空観察会の会場として、センター建物前の敷地を提供し地域住民が利用した。 ・自治会回覧板やバス停への掲示などを利用して事業案内を行い、より多くの方にセンターの活動内容の周知を図った。
土気いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙管理委員会からの要請により集会室を選挙会場として提供した際、地域住民への施設の広報活動を積極的に行った。 ・地域のあんしんケアセンターの見守りネットワーク会議に出席し、地域の情報交換や関係機関との連携を図った。 ・口腔ケア、栄養指導、ストレッチ体操等を行う介護予防短期教室や、介護予防に関する講演会を多数開催した。
真砂いきいきセンター	C	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会は当初計画していた回数を増加することで参加機会を増やし、また幅広い分野の講演会を企画した。 ・生きがい活動や機能回復訓練に落選した利用者の支援として、月に2回、1時間であった体操教室を30分延長して実施した。 ・地域での出張体操、健康測定会を積極的に実施し、施設の広報とともに、地域での活動支援と介護予防に取り組んだ。

(2) 市による評価
ア 全体

総括 評価	B	所見	<p>市の求める水準を上回る管理運営が行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者数は、市の定める数値目標どおりであった。 利用者アンケートによる満足度は市の定める数値目標を上回った。 管理運営の履行状況は、各種事業を市の定める実施回数以上実施するなど、市の定める水準を上回る管理運営が行われた。 施設管理経費縮減では、大幅に経費を節減した。
----------	---	----	---

	利用者数	満足度	管理運営の履行状況							管理 経費 縮減	総合	A又はB の割合	D又はE の割合
			1 市民 の平等利 用の確保 ・施設の	2 施設 管理能力 (1)	2 施設 管理能力 (2)	3 施設 の効用の 発揮(1)	3 施設 の効用の 発揮(2)	3 施設 の効用の 発揮(3)	4 その他				
市による評価	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
中央いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
花見川いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
稲毛いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
若葉いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
緑いきいきプラザ	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
美浜いきいきプラザ	C	B	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
蘇我いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	40%	0%
花見川いきいきセンター	C	B	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
さつきが丘いきいきセンター	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
あやめ台いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	40%	0%
大宮いきいきセンター	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%
都賀いきいきセンター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
越智いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	40%	0%
土気いきいきセンター	A	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	40%	0%
真砂いきいきセンター	C	A	C	C	C	C	C	B	C	A	B	30%	0%

イ 施設別

施設名	総括評価	所見
中央いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> 電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 利用者からの要望を受け、講演会・イベント情報を掲載した広報誌を配布している。 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 創意工夫し、各種世代間交流を実施している。29年度から新たに近隣の幼稚園との交流を行っており、事業の拡充に努めている。 近隣施設との連携として、地域ケア会議に参加し教育機関や自治会等と情報交換をしている。また、あんしんケアセンター、地域住民、中学生と連携し認知症徘徊声掛け模擬訓練を実施している。自主事業として、各種事業を創意工夫し実施している。 個人情報持ち出し簿が整備されていなかった。
花見川いきいきプラザ	B	<ul style="list-style-type: none"> 新聞の折り込み広告により高齢者福祉講座等の案内を配布し利用促進に努めている。 高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 創意工夫し、各種世代間交流を実施している。スポーツ吹矢による交流が好評で参加者が増えている。 自主事業として、29年度から千葉市知的障害者施設連絡協議会と連携し福祉バザーを開催している。その他、花見川いきいき体操等、各種自主事業を実施している。 利用者との職員との衝突事故に関して事故報告書の提出漏れがあった。

<p>稲毛いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・29年度から稲毛区役所、地区社会福祉協議会、地域のNPO法人等へ、広報誌の設置を依頼するなど利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・地域交流として、29年度から映画鑑賞会を実施している。世代間交流では、創意工夫し各種交流会を開催している。 ・近隣施設との連携として、自治会、あんしんケアセンター、地区社会福祉協議会等と連携し徘徊模擬声掛け訓練を実施している。自主事業として、各種事業を創意工夫し実施している。 ・利用者の転倒事故に関して事故報告書の提出漏れがあった。
<p>若葉いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・子どもルーム、北谷津温水プール、コミュニティセンター、公民館へ広報誌を配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。閉館中の都賀いきいきセンターの利用者へ配慮し、都賀近隣の地区社会福祉協議会の部屋を借りて講演会を開催している。 ・地域交流として実施している、いきいきプラザフェスティバルで、閉館中の都賀いきいきセンター利用者の作品を展示するなどの配慮をしている。世代間交流では創意工夫し各種交流会を開催している。 ・近隣施設との連携として、千葉市療育センターいずみの家のためにペットボトルキャップを収集したり、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社と連携し踏切事故防止キャンペーンを開催したりしている。自主事業として、ゲートボール大会、カラオケ大会など各種事業を創意工夫しながら実施している。
<p>緑いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・創意工夫し各種世代間交流を開催している。 ・近隣施設等との連携として、ハーモニープラザフェスティバルへの出店したり、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社と連携し踏切事故防止キャンペーンを開催したりしている。自主事業として、囲碁将棋大会、落語会、クリスマスコンサートなど各種事業を創意工夫しながら実施している。
<p>美浜いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電力供給事業者を入札により決定し、経費節減に努めている。 ・既存のパンフレットに加え、新規利用者向けのパンフレットを作成し、近隣商業施設、美浜区高齢障害支援課等へ配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・地域交流として実施している、いきいきプラザフェスティバルは同好会数が多いことなどから規模が大きく盛況である。 ・世代間交流として、各種行事をしており参加者が多い。知的障害者授産施設利用者として継続的に交流会を開催している。 ・近隣施設との連携として、地域ケア会議で地区社会福祉協議会、美浜区健康課などと情報交換をしている。自主事業として、近隣商業施設にて、血管年齢測定会を開催している。その他、創意工夫し各種自主事業を実施している。
<p>蘇我いきいきプラザ</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会への広報誌の回覧数の増、近隣商業施設へ広報誌の設置、蘇我コミュニティセンターなど関係機関を通じての広報誌の配布など利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・地域交流として実施している、いきいきセンターフェスティバルはイベント内容を工夫するなどにより、参加者が多く盛況である。29年度からはスポーツ吹矢体験を実施している。世代間交流も創意工夫し各種行事をしており参加者が多い。同一建物内の子育てリラククス館と共同し夏祭りを開催するなどしている。 ・近隣施設との連携として、蘇我コミュニティまつりへの参加や、地域ケア会議での教育機関や自治会等と情報交換、あんしんケアセンター、地域住民、中学生と連携し認知症徘徊声掛け模擬訓練を実施するなどしている。 ・各種自主事業を創意工夫し積極的に実施している。29年度には出張体操やシニアリーダー体操の実施回数の増など事業の拡充に努めている。

花見川いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の折り込み広告により高齢者福祉講座等の案内を配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・地域交流として実施している、いきいきセンターフェスティバルの参加者が多く盛況である。その他の地域交流として、映画鑑賞会、クリスマスコンサートなど、創意工夫し各種交流会を開催している。 ・各種世代間交流を開催しており、保育所との交流回数を増やすなど事業の拡充にも努めている。 ・自主事業として、地域の老人会からの要望を受け、看護師による健康セミナーを開催するなど、創意工夫し各種事業を実施している。
さつきが丘いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の折り込み広告により高齢者福祉講座等の案内を配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・創意工夫し各種世代間交流を開催している。 ・近隣施設等との連携として、地区社会福祉協議会と連携し福祉まつりを開催している。 ・自主事業として、さつきが丘いきいき体操、いきいき100歳体操など各種体操を実施しており参加者が多く、その他、創意工夫し各種自主事業を実施している。
あやめ台いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい活動支援通所事業に関する広報誌を作成し近隣世帯へポスティングしたり、生きがい活動体験会を開催したりして利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・世代間交流では、センターがあやめ台小学校内に立地していることを活かし、子どもルームや小学校と頻繁に交流会を開催しており参加者が多い。 ・創意工夫し、各種自主事業を積極的に実施している。29年度から麻雀教室、ポッチャ交流会などの各種新規事業を実施し、施設利用者数が大きく増加した。 ・臨時休館の際に休館届の提出が遅延し休館後となった。
大宮いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・世代間交流では、センターが大宮小学校内に立地していることを活かし、小学校と定期的に交流している。 ・ポッチャ大会、昭和の名曲コンサートなど、創意工夫し各種自主事業を実施している。
越智いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・創意工夫し、各種世代間交流を開催している。 ・近隣施設等との連携として、見守りネットワーク土気会議に参加し、民生委員、地区社会福祉協議会、あんしんケアセンター等と情報交換をしている。 ・各種自主事業を創意工夫し積極的に実施している。29年度には、新規におゆみのふれあい館で脳トレ教室を開催するなど事業の拡充にも努めている。
土気いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・土気あすみが丘プラザ、公民館、市民センター、近隣商業施設へ掲示物の依頼をするなど利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を大幅に上回る回数を実施している。 ・地域交流では、29年度から作品展示の実施回数を増やしたり、新規に握力測定会を開催したりするなど事業の拡充に努めている。 ・世代間交流では、創意工夫し各種交流会を開催している。 ・近隣施設等との連携として、見守りネットワーク土気会議に参加し、民生委員、地区福祉協議会、あんしんケアセンター等と情報交換をしている。 ・各種自主事業を創意工夫し実施している。29年度には出張体操や土気いきいき体操の実施回数増など事業の拡充にも努めている。

真砂いきいきセンター	B	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のパンフレットに加え、新規利用者向けのパンフレットを作成し、近隣商業施設、美浜区高齢障害支援課等へ配布し利用促進に努めている。 ・高齢者講演会を管理運営の基準を上回る回数を実施している。 ・近隣施設との連携として、地区社会福祉協議会、美浜区健康課などと地域ケア会議を開催し情報交換をしている。 ・自主事業として、近隣商業施設にて、血管年齢測定会を開催するなど、創意工夫し、各種自主事業を積極的に実施している。 ・利用者の救急搬送に関して事故報告書の提出漏れがあった。
------------	---	--

<p>【評価の内容】</p> <p>A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。</p> <p>B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。</p> <p>C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。</p> <p>D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。</p> <p>E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。</p>
--

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況については、本委員会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲内では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。健全な財務体質と理解できる。 ・管理運営については、引き続き、施設管理経費の縮減に努めていただくとともに、施設を積極的に利用してもらうためにリーフレット等による募集時期の周知や利用者ニーズに沿った運営により利用者満足度のさらなる向上に努めていただきたい。
--